

三島村竹島



主 催 : 公益財団法人どうぶつ基金
共 催 : 三島村役場
協 力 : 竹島地区会 NPO法人みしまですよ
期 間 : 平成27年9月1~3日 (手術日)

地域の特徴

【鹿児島県の現状】

区分 自治体名	猫									
	引取り数				処分数					
	飼い主から		所有者不明		返還数	返還数 のうち 幼齢個体	譲渡数	譲渡数 のうち 幼齢個体	殺処分数	殺処分数 のうち 幼齢個体
	成熟個体	幼齢個体	成熟個体	幼齢個体						
鹿児島県 (鹿児島市を除く)	395	576	3	9	9	6	22	18	953	-

鹿児島県（鹿児島市を除く）では平成25年度1年間で953匹の猫を殺処分を行っている。殺処分数のうち、成熟個体と幼齢個体数の区分をしておらず、幼齢個体数は成熟個体に計上している（H25年度環境省調べ）。

【TNR該当地域の状況】

鹿児島県鹿児島郡三島村竹島は、鹿児島市からフェリーで約3時間の距離にあり、島の面積：4.2km²、世帯数：46、人口：72の島である（申請書より一部抜粋）。

【竹島ねこマップ（申請書より）】



申請事業の背景・必要性及び目的

三島村の竹島では、非常に狭い範囲の住宅地に多数のノラ猫が生息しており、その数は年々増加している。それにより、以下のような弊害が発生している。

- ・糞尿による悪臭
- ・発情期の深夜にわたる鳴き声
- ・母猫の人間への威嚇
- ・車やバイクで走行中の飛び出しによる急ブレーキ
- ・家屋への侵入

三島村は離島で動物病院がないため、村内での解決は非常に困難な上、原因ははっきりしないがここ数年増加に拍車がかかっている。

(申請書より)

三島村役場からの申請を受け「さくらねこ一斉TNR無料不妊手術」を竹島にて実施することとなった。



手術会場及び猫保管場所

手術会場：竹島体育館

猫の保管：竹島体育館及び各家庭



手術会場の様子

捕獲器及びケージ使用台数

捕獲器

捕獲器所有者	使用台数
どうぶつ基金	50
合計	50

ケージ

ケージ所有者	使用台数
どうぶつ基金	40
合計	40

スケジュール

9月1日 (火)

13:15	竹島到着
13:30	会場到着・設営
14:20	ミーティング
14:30	手術開始
17:00	手術終了
17:30	撤収完了・終礼

9月2日 (水)

8:45	朝礼
9:00	手術開始
12:00	昼休憩
13:00	手術再開
17:00	手術終了
17:30	撤収完了・終礼

9月3日 (木)

8:45	朝礼
9:00	手術開始
12:00	昼休憩
13:00	手術再開
14:00	手術終了
15:30	撤収完了・終礼

協働人員数 (手術日)

期間	どうぶつ基金	三島村役場	竹島ボランティア	合計
9月1～3日	スタッフ3名 獣医師2名	2名	12名	19名

手術集計

TNR数

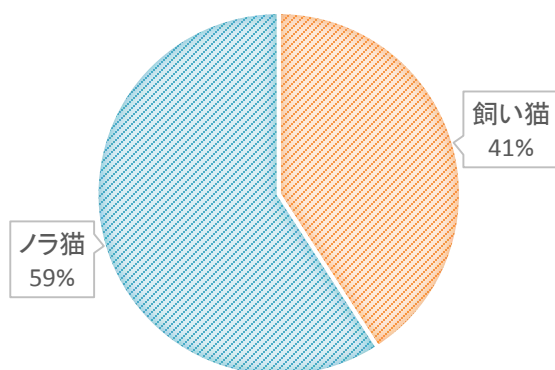
	オス	メス	耳カットのみ	計
9月1日	10	10	0	20
9月2日	28	30	1	59
9月3日	3	10	0	13
計	41	50	1	92

全頭に実施

ノミ・ダニ・回虫の駆除（レボリューション）、ワクチン、点眼、補液50cc

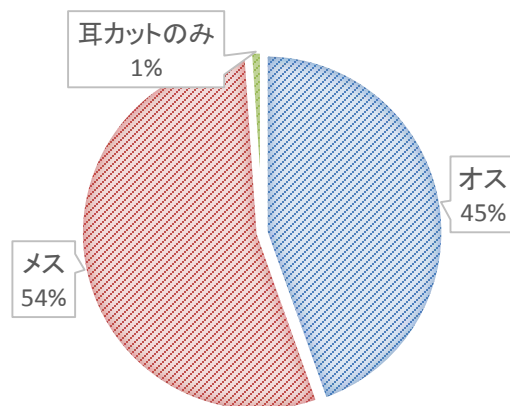
飼い猫ノラ猫割合

■ 飼い猫 ■ ノラ猫



手術割合（竹島）

■ オス ■ メス ■ 耳カットのみ



執刀医



山口武雄獣医師（どうぶつ基金顧問）



稲葉獣医師

手術会場の様子



1. 朝礼

手術開始前に、毎朝朝礼を行う。



2. 手術準備

管理タグがついた猫を手術会場に搬入し、安定剤、麻酔、抗生剤、ワクチン、ノミ・ダニ・回虫の駆除（レボリューション）を注射や投与していく。



3. 耳カット毛刈り・ノミ駆除

手術する前に、みみ先カット（さくら耳）、毛刈りを行う。

毛刈りでは、元散髪屋さんの島の方が活躍した。

手術会場の様子



4. 不妊去勢手術



5. 術後ケア

手術が終わった猫には、補液、目薬、耳掃除を行う。



6. 子猫の保護

手術ができない低体重の子猫は島で保護され、適齢期になったら鹿児島で不妊手術を受ける。

手術会場の様子



7. 安静

手術が終わった猫はケージに戻り
麻酔から覚めるまで安静にする。



8. リターン

翌日、麻酔が完全に覚めてから
捕獲された場所にリターンされる。



9. さくらねこ誕生

元いた場所に帰ったさくらねこたち。

94%に不妊手術が完了、手術漏れも補完

申請時の目標として掲げていた98匹のうち、94%である92匹を手術に手術が完了した。

手術ができなかった子猫と捕獲漏れの成猫は、子猫が適正体重になるまで保護し、鹿児島県のボランティア団体の支援を受け不妊手術を実施する。平成27年12月末までに全頭の不妊手術が完了する見通しである。



ケージの中で出産した母猫。

責任感の芽生え（報告書より）

申請時の目標として掲げていた98匹のうち、92匹を手術を施すことができた。

また、「当該地域から新たに子猫が産まれないことをもって、徐々にノラ猫の数を削減する。」という目標も今後達成していける見込みだ。

そして、「対象地域をモデルとして、他の地域での活動の普及を図る。」という目標に対しても、全体の頭数に対する手術達成率から、他地域に対してモデルとなることができると考えている。

今までなかった、野良猫への島民の責任感が生まれてきたと感じる。

また、新聞にとりあげられ、村外の人からも認知され、島やノラ猫問題に興味を持つ人が増えたと思う。

三島村竹島からの事業成果報告書より抜粋



竹島の人口より多い猫

92匹に不妊去勢手術

どうぶつ基金

公益財団法人どうぶつ基金（兵庫県・佐上邦久理事長）は、三島村の竹島で、野良猫や飼い猫92匹に、無料で不妊去勢手術をした。島では、猫が年々増え続け、車にひかれる事故が多発。殺処分せずに長期間かけて数を減らすため、島民総出で猫の捕獲作戦を実施した。

猫は通常1年に3〜4回、1回で5〜6匹の子猫を産む。村によると、竹島内では人口79人より多い猫約100匹が生息しているという。住民は発情期の鳴き声やふん尿に悩まされており、車にひ



猫の不妊去勢手術の準備を進める島民やどうぶつ基金スタッフら
＝三島村竹島（どうぶつ基金提供）

かれる猫も多かったため、村が6月、無料で出張手術の活動をしている「どうぶつ基金」に申請した。

竹島の地域活性化に

取り組むNPO法人「みしまですよ」が陣頭指揮を執り、8月29日から住民総出でほとんどの猫を捕獲。飼い猫は飼い主の同意制だっ

たが、全員が同意した。毛刈りなどは住民も手伝い、どうぶつ基金の協力獣医師2人が9月1〜3日、竹島体育館で施術。ノミ・ダニ駆除や、負傷した猫の治療も無料で実施し、野良猫は元の場所に放した。NPO法人の山崎晋作理事長（32）は「今後は、新しく移住してくる人も含めて、住民みんなで猫の飼い方を考えていきたい」と話した。（高野寛子）

メディア掲載（広報みしま）

7 No.517

広 報 み し ま

平成27年10月1日発行



「さくらねこ」たち

9月1日より3日まで、公益財団法人どうぶつ基金の協力により、三島村竹島にて「竹島ごとさくらねこ一斉TNRプロジェクト」が行われました。TNRとは、

- ・野良猫の捕獲 (Trap)
- ・不妊、去勢手術 (Neuter)
- ・元の場所へと帰す (Return)

の3つで、プロジェクトでな
にを行うのかを表しています。
不妊、去勢手術の行われた猫
は、手術用麻酔の効いている間
に耳を少しV字にカットされ、
耳の形が桜の花びらのように見
えることから「さくらねこ」と
称されます。

今回竹島の猫、92匹がさくら
ねこになりました。

竹島ごとさくらねこ
一斉TNRプロジェクト

公益財団法人 どうぶつ基金 HP

<https://www.doubutukikin.or.jp/>

竹島ごとさくらねこ一斉 TNR プロジェクト報告ブログ記事

<http://doubutukikin2010.blog58.fc2.com/>

NPO みしまですよ の報告ブログ

竹島はネコの島！？ 離島の悩み事。

<http://mishima.link/?p=4191>



三島村竹島

主 催 : 公益財団法人どうぶつ基金
共 催 : 三島村役場
協 力 : 竹島地区会 NPO法人みしまですよ
期 間 : 平成27年9月1～3日 (手術日)